

2021年11月5日

報道機関 各位

東北大学大学院医学系研究科

大学院医学系研究科 虫明元教授の提案が
JST「SDGsの達成に向けた共創的研究開発プログラム」
に採択されました。

【発表のポイント】

- 虫明教授らの「演劇的手法を用いた共感性あるコミュニティの醸成による孤立・孤独防止事業」が、JST 新規の研究開発プログラムに採択された。
- 多様な人々とのコミュニケーションや、人々をケアする共感性のあるコミュニティづくりに寄与し、孤立・孤独の防止を目指す。

【研究概要】

東北大学大学院医学系研究科 生体システム生理学分野 虫明元(むしあけ はじめ)教授を代表とするグループは、国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)の2021年度 戦略的創造研究推進事業(社会技術研究開発)「SDGsの達成に向けた共創的研究開発プログラム(社会的孤立・孤独の予防と多様な社会的ネットワークの構築)」で令和3年度の提案として、採択されました。

このプログラムは、JST の社会技術研究開発センター(RISTEX)によるもので、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の影響等、様々な社会構造の変化を踏まえ、(1)社会的孤立・孤独のメカニズムを明らかにすると共に、(2)社会的孤立・孤独を生まない社会像を描出し、(3)人や集団が社会的孤立・孤独に陥るリスクの可視化や評価手法(指標等)、社会的孤立・孤独を予防する社会的仕組みの研究開発を推進する、新規の研究開発プログラムです。

虫明教授らは、「演劇的手法を用いた共感性あるコミュニティの醸成による孤立・孤独防止事業」の提案を行いました。体制としては東北大学以外に共同研究開発機関として宮城教育大学、そして協力機関として、演劇家のグループであるPLAY ART! せんだい、劇団プレイバックーズ、スクール・オブ・プレイバックシアター日本校などと連携して今後活動する予定です。

本研究の採択発表は、2021年11月1日午後2時にJSTより発表されました。

【お問い合わせ先】

(研究に関すること)

東北大学大学院医学系研究科生体システム生理学分野
教授 虫明 元

電話番号: 022-717-8073

Eメール: hmuhik@med.tohoku.ac.jp

(取材に関すること)

東北大学大学院医学系研究科・医学部広報室

電話番号: 022-717-8032

FAX 番号: 022-717-8187

Eメール: press@pr.med.tohoku.ac.jp

【詳細】

プロジェクト名：

演劇的手法を用いた共感性あるコミュニティの醸成による孤立・孤独防止事業

研究代表者：虫明 元（東北大学 大学院医学系研究科 教授）

概要：

日本は従来、諸外国に比べて孤独化の傾向が高いことで知られ、この孤独化による自尊心の低下が危惧されていた。さらに、コロナ禍において、コミュニティの絆が弱まって、孤立化・孤独化するリスクのある人々への共感性が失われていることが、人々の孤独感に強く影響していると示唆され、人々の社会的孤立の深刻化が懸念されている。本プロジェクトでは、応用演劇の手法を用いて、共感性のあるコミュニティの醸成を目指す。まずは他者理解に必要な社会情動的スキルを育む、応用演劇と科学的人間理解を組み合わせた教育プログラムを創出する。さらに参加者が互いに語り、傾聴し、演じるための安全基地となる豊かなコミュニティづくりを育む取り組みを実施し、そのファシリテーターを育成する。また、各種性格特性、生理的指標、人間形成の質的調査を組み合わせた多次元尺度による評価法を開発して、孤立・孤独のリスク評価を目指す。演劇的手法をコミュニティ醸成に役立てるために即興再現劇の演劇グループ、地元の仙台の演劇グループとの連携体制を構築し、まずは東北大学と宮城教育大学の学生を対象に、遠隔と対面を交えたハイブリッド形式でこのプログラムを実施する。さらに、育成した人材とともに、ニーズのあるコミュニティにおいて、演劇家と現場を結ぶファシリテーターとして関わり支援する。これらの実践を通じて、コミュニティの絆を育み、他者との健全な関わりを生み出すことで、多様な人々とのコミュニケーション、人々をケアする共感性のあるコミュニティづくりに寄与し、孤立・孤独の防止を目指す。

研究開発への参画・協力機関：

東北大学、宮城教育大学、PLAY ART！ せんだい、劇団プレイバックーズ、スクール・オブ・プレイバックシアター日本校、アスカカンパニー株式会社 など

<参考>

「SDGsの達成に向けた共創的研究開発プログラム(社会的孤立・孤独の予防と多様な社会的ネットワークの構築)」について

<https://www.jst.go.jp/ristex/funding/solve-koritsu/index.html>

JST プレスリリース

<https://www.jst.go.jp/pr/info/info1535/index.html>